

ボーイスカウト東京連盟  
あすなろ地区 広報誌  
第38号  
2022年(令和4年)  
3月 17日  
組織拡充・広報委員会

## スカウトキャンプ研修会 日向野営場で開催

3月12日(土)～13日(日)、東京連盟日向野営場で第260回スカウトキャンプ研修会が開催されました。

スカウトキャンプ研修会は指導者の研鑽の場として、また研修所に参加のためには本研修が必須になっています。

主任講師は日本連盟リーダートレーナーの当地区佐藤地区委員長で、各団の指導者11人の参加により2つの班を構成し、感染対策のため、参加者は持参した個人用のソロテントでの宿泊になりました。

講義の内容は、スカウトキャンプ、キャンプ生活、テント技能、野外料理、ナイトプログラム、野外工作などで、参加者からは身につけにくい技能や体験を通じて、ボーイスカウト活動が理解できたなどの感想がありました。



参加者の集合写真



山武閣(研修棟)での講義



設営資材の点検



事前課題の立ちかまど模型



班サイトの設営



出来上がった班サイトの点検



立ちかまどの作製



2日目朝の点検



スカウトOWN



刃物の砥ぎ方の実習



野営工作のテーブル作り



主任講師より修了証の授与



各セッションを担当の講師

## スカウトキャンプ研修会の説明会

2月12日(土)、スカウトキャンプ研修会の説明会が中野南部すこやか福祉センターで開催され、参加者は事前の説明を受けました。

主任講師となる佐藤地区委員長より、役割分担はするものの、テント立てなどの設営、料理など、目覚めている間はすべてセッションのつもりで、すべてを経験するよう努め、一定レベルの野営技術を身に付けるよう要望がありました。

隊長役の古川副コミッショナーから副長、上班、班担当が紹介され、副長役の内田地区副コミッショナーから防寒具など携行品の案内があり、立ちかまどの模型を作成して持参する課題が出されました。



## 隼スカウト章などの伝達

3月14日(月)、西荻地域区民センターとオンラインで開催の地区委員会に先立ち、以下の伝達が行われました。

- |                                 |       |                             |
|---------------------------------|-------|-----------------------------|
| 隼スカウト章                          | 杉並3団  | 松窪 遼史さん                     |
|                                 | 杉並3団  | 松尾 奏流さん                     |
| プラチナアワードハイク200                  |       |                             |
|                                 | 杉並11団 | 古澤 優馬さん                     |
| オリンピック・パラリンピック参加国国旗掲揚動画撮影奉仕の記念品 |       |                             |
|                                 | 杉並3団  | 松窪 遼史さん                     |
|                                 | 杉並11団 | 出原 ももさん                     |
|                                 | 杉並11団 | 山本 虎太郎さん (カブ隊副長、動画撮影と編集を担当) |



隼スカウト章の伝達



飯沼コミッショナーから弥栄



記念撮影

## 菊スカウト章、隼スカウト章の伝達

1月10日(月)、阿佐谷地域区民センターとオンラインで開催の地区協議会と登録業務説明会に先立ち、以下の伝達が行われました。

菊スカウト章	杉並11団	牛久 芹菜さん
	杉並11団	高木 瑞希さん
隼スカウト章	杉並11団	佐々田 詠哉さん
プラチナアワードハイク200	杉並6団	オドネル・ウイリアム陽さん
	杉並11団	工藤 澄子さん



菊スカウト章の伝達



隼スカウト章の伝達



プラチナアワードハイク200の伝達



佐藤地区委員長から祝辞



飯沼コミッショナーから弥栄



記念撮影



## 隼スカウト章、プラチナアワードの伝達

2021年12月13日(月)、阿佐谷地域区民センターとオンラインで開催の地区委員会に先立ち、以下の伝達が行われました。

隼スカウト章	杉並3団	城 慎太郎さん
プラチナアワード	ハイク200	
	杉並11団	牛久 芹菜さん



隼スカウト章の伝達



プラチナアワードハイク200の伝達



記念撮影

## 大きく育て！ 地区10周年記念の植樹

あすなる地区発足10周年の記念イベントとして、1月29日(土)、杉並区の蚕糸の森公園で杉並5団、11団のスカウトと指導者が参加して、記念の植樹が行われました。

10周年記念イベントは、昨年11月の各団ビデオメッセージの公開、中野区長訪問、中野区四季の森公園での記念植樹、地区報「あすなる」の10周年特集号の発行に続くものです。

式には主催者として佐藤地区委員長が挨拶し、来賓の蚕糸の森公園勝野管理事務所長から挨拶があり、なだらかな芝生の丘の裾に3本のハナミズキを並べて植え、スカウトと指導者が順番にスコップで土をかけました。

公園には地区発足記念植樹のあすなるの木もあり、春の開花、秋の紅葉など楽しみにして訪れてみてください。



穴を掘って植樹の準備



佐藤地区委員長挨拶



平成22年地区発足の記念植樹



スカウトの植樹



地区役員の植樹

囲いの杭を打ち込み樹木を保護



飯沼地区コミッショナー閉会の挨拶



参加者の記念撮影



### プレートも設置

3月6日(日)、佐藤地区委員長、中野8団の伊佐野団委員長、大原団担当コミッショナーが参加し、公園の勝野所長にも協力いただいて、記念植樹に改めて「ボーイスカウトあすなる地区発足10周年記念」と記されたプレートが設置されました。

# 自慢のマシんで風を切れ！ パインウッドダービー

1月16日(日)中野区の谷戸小学校体育館で、あすなる地区のピンウッドダービー大会が開催され、オミクロン株の感染が懸念されることから、スカウトはリモートでの参加となり、各団リーダーが車を走らせ、会場の様子はオンラインで配信されました。



参加した杉並3団と13団、中野3団と8団のカブ隊では、大会前の集会でピン(松)の木を削り、車輪や重りを付け、彩色してテスト走行を重ね、スカウト51台とアンリミテッド10台の車が参加しました。受付では車のサイズ、重量を計り、不合格の車は改良して再び車検を受けました。

佐藤地区委員長の開会挨拶のあとレース開始となり、杉並11団の田原基広さんから出走車の団名と名前が紹介され、“レディーゴー！”の元気な掛け声で出走し、レーンを変えた4回の平均タイムで順位を決定しました。

各年代の以下の上位入賞者は2月27日(日)、本郷学園で開催されたピンウッドダービー東京大会に出場し、しか部門の徳弘敦也さん(中8)は2位に入賞しました。

- |              |   |    |
|--------------|---|----|
| <b>うさぎ部門</b> | ①藤森千智(杉13)、②石井 凱(杉13)、③石黒愛奈(杉13)、④岡原いちか(中8)、<br>⑤曾我 渚(杉13) ⑥金海和樹(杉13)、⑦廣田幸歩(杉3) | 7名 |
| <b>しか 部門</b> | ①徳弘敦也(中8)、②奥野千歳(杉13)、③五本木拓也(杉13)、④櫻井花菜(杉3)                                      | 4名 |
| <b>くま 部門</b> | ①都築翔大(杉3)、②阿久津茉莉(杉13)、③澁谷昌樹(杉13)  | 3名 |
| <b>アンリ部門</b> | ①石黒文子(杉13)、②伊藤栄紀(杉13)、③武藤八朗(中3)   | 3名 |
| <b>組 部門</b>  | ①杉並第13団 2組、②杉並第13団 1組   |    |
| <b>デザイン賞</b> | うさぎ; 上田有紗(中8)、しか; 高橋 稟(中8)、くま; 澁谷昌樹(杉13)、アンリ; 松原隆二(杉3)                          |    |



## 信仰奨励章取得集会

## 信仰奨励委員会委員長 津村道夫

1月23日(日)、信仰奨励章取得集会が杉並2団本部のある築地本願寺和田堀廟所で開催され、スカウト12名が参加しました。

集会では3グループに分かれ、第一部は「日々の善行」について各自の体験談をグループで話し、グループとして選んだ体験談を寸劇にして発表して、“アンノウンスカウト”の寸劇の動画を鑑賞しました。

第二部はベーデン・パウエル卿の「ラストメッセージ」の朗読を聞き、以下について話し合い、発表しました。

○なぜ『幸福への第一歩は、少年のうちに、健康で強い体をつくっておくこと』なのか？

○なぜ『自然研究をすると、神が君たちのために、この世界を美しいものやすばらしいものに満ち満ちた、楽しいところにおつくりになったことがよくわかる』なのか？

○なぜ『幸福を得るほんとうの道は、ほかの人に幸福を分け与えることにある』なのか？

第三部の「スカウトタウン・サービス」は仏教形式の“お夕事”を実施し、和田堀廟所の平井主管（杉並2団団委員長）よりお話をいただき、住職の異様と仏教全般に関する質疑応答を行いました。

地域団から多くのスカウトが参加したことで、通常のスカウト活動では取得しづらい信仰奨励章の課目を特別集会の実施で取得できるようにする目的は達成できたと考えられます。

信仰奨励章取集会は2019年度に初めて開催し、今回の集会は2年ぶりの開催となりました。

第一部、第二部の内容は地域団に限らず、宗教団にもニーズがあると思われるため、各団のニーズをくみ取り、次回の信仰奨励章取得集会開催の時期、内容を検討したいと思います。



# スカウトの森で野外体験会を開催

# 杉並13団

3月6日(日)、杉並13団は野外体験会を大宮八幡宮内のスカウトの森で開催し、多くの子供たちが参加しました。

森の木々の間に設置した丸太やブロックを渡るアスレチック、ロープで登る木登り、フライシート支柱の間に張られたロープのくぐり抜け、ヘルメットをかぶって登る信号塔などには子供たちが次々に挑戦しました。

各テーブルでは飾り紐づくり、牛乳パックから長方形に切り取った3枚の紙をホッチキス止めしたブーメラン、輪切りのペットボトルのまわりにビニールテープを貼った飛行機などの工作も人気でした。

割り箸鉄砲は子供だけでなく、時には保護者も手伝って組み立て、出来上がった鉄砲で紙コップの標的を撃ち落としていました。

保護者向けの説明会も行われ、ボーイスカウトはグループで活動し、体験を通して学ぶことなどが説明されました。



受付



体験会についての説明



丸太わたりのアスレチック



ロープくぐり



ロープを握って木登り



キムスゲーム



信号塔登りに並ぶ列



まき割り



割った薪は立ちかまどへ



牛乳パックで作るブーメラン



飾り紐づくり



割り箸鉄砲で紙コップ落し

## 各国大使館と東京タワーめぐり

## 杉並6団カブ隊隊長 星 鉄兵

今回は、港区にある大使館と東京タワーをめぐる隊集会を紹介します。

事前の集会では、各組ごとに大使館を最低5つめぐることとし、デンリーダーをメインに据えて、スカウトが行きたい大使館を選び、お昼の12時30分を目安に東京タワーに集まることにしました。

また、自由に電車の乗り降りが可能な「都営地下鉄・東京メトロ一日乗車券」を使うことにして、どの地下鉄を使って東京タワーまで行けるかのコースを決めました。

2月27日(日)、全員で半蔵門駅からボーイスカウト発祥の地のイギリス大使館に向かい、そこをスタートとして、各組ごとに分かれて出発しました。杉並6団カブ隊は2組のため、2つのコースを紹介します。

### ▶1組のコース

半蔵門駅(半蔵門線)→永田町駅(南北線)→溜池山王駅(徒歩)→バーレーン大使館(徒歩)→スペイン大使館(徒歩)→スウェーデン大使館(徒歩)→オランダ大使館(徒歩)→神谷町駅(日比谷線)→六本木駅(徒歩)→シンガポール大使館(徒歩)→オーストラリア大使館(徒歩)→チリ大使館(徒歩)→東京タワー

### ▶2組のコース

半蔵門駅(半蔵門線)→青山一丁目(大江戸線)→六本木駅(日比谷線)→広尾駅(徒歩)→ドイツ大使館(徒歩)→スイス大使館(徒歩)→ルーマニア大使館(徒歩)→オーストリア大使館(徒歩)→ロシア大使館(徒歩)→東京タワー

大使館ごとに建物の大きさや形、雰囲気などが異なるため、スカウトと共に楽しめると思います。

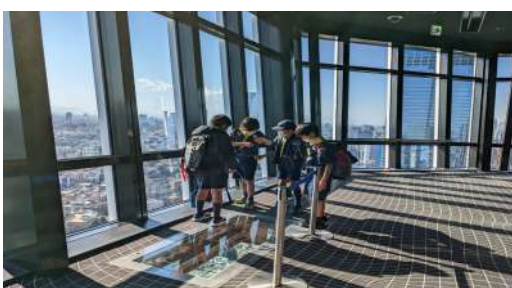
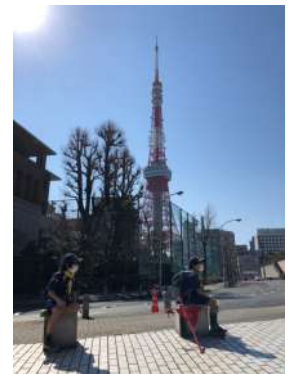
写真を撮ってもよい大使館もありますが、撮影禁止の大使館もあるため、今回は撮れるところだけ撮ることにしました。

東京タワーに全員集合のあとには隣の「もみじ谷」にて昼食にし、昼食後はお待ちかねの東京タワーに登りました。その場でアンケートを取り、エレベーター組、階段で登る組に分かれ、展望台のメインデッキまで行きました。

さすがに子供たちは階段を登る元気もいっぱいでした。

展望台では、通ってきたルートを空から確認したり、ガラスになっている床などを体験し、展望台を満喫しました。

帰りは全員一緒に神谷町駅から最寄りの駅まで、地下鉄とJRを使って帰りました。事前にコースを組長と他スカウト、デンリーダーでしっかり共有できていると、大変充実したハイクになると思います。





## 氷点下での5泊冬キャンプ

杉並11団 BS隊長 米田 元

初めて冬休みを利用しての5泊（12/25～30）のキャンプを地蔵山で行いました。コロナ禍で、2年連続で5泊の夏キャンプができず、1級になかなか進まないスカウトがおり、来年度のグリーンバー候補が長期キャンプ経験不足であることも考慮して、スカウトたちと相談して思いきって冬に5泊を行うことにしました。中2～3のスカウトの多くが塾などで不参加となる中、スカウト12名、リーダー3名の計15名が参加しました。

それまで週末の1泊キャンプを重ねて、寒さに慣れる訓練をしてきましたが、ちょうど冬キャンプが始まる日から本格的な寒波が到来して、地蔵山は毎朝マイナス3～5度まで下がるとの予報でした。私自身はスカウト時代に真冬でも週末キャンプをして、朝起きたら雪が積もっていたこともありますし、北八ヶ岳の山小屋で長期雪中キャンプをしたり、山小屋の隣に掘った雪洞で一晩寝た経験もありますが、氷点下の野外での5泊は初めてでした。寒さをどうしのいで長期を過ごすか、事前に様々な方策を考え、スカウトや保護者に毛布や防寒着の準備の連絡を重ね、隊として予備の毛布、寝袋、カイロも準備し、極寒時の活動用にマーキーテントを立てたり、火鉢代わりに炭火コンロを用意したりと、準備万全で臨みました。

夜は10時を過ぎると空気がピンと張り、地面には霜柱ができ、ためた水が凍り始めるなど、たしかに氷点下の様相でしたが、防寒服をしっかりと着て、焚き火で体を暖め、寝袋に毛布を入れて、ペットボトルで湯タンポを作れば、夜は意外と快適に眠れました。私自身はずっとウルトラヒートテック長袖、フード付き裏起毛パーカー、ダウンジャケットの3枚で過ごし、寒さは感じませんでした。朝晩は外気で寒いと言っているスカウトもいましたが、テントに入って一度寝入ると、途中で目が覚めても、朝まで起きずにすぐに眠れたようです。

氷点下でもたき火を続け、しっかり防寒対策ができていれば、冬キャンプは夏の湿気や虫の来襲もなく、案外快適にキャンプ生活を送れることを実感しました。毎日好天で昼間は日差しが強く、日だまりは快適で、体を動かすと汗ばむほどのため、昼間は半袖で過ごすスカウトもいたほどです。

今回は焚き火にあたりながらのんびりするキャンプにしようと思案し、グリーンバー会議でスカウトたちがサイトでの班活動中心のプログラムにしましたが、2日目と4日目午後のお風呂ハイク、3日目の長池公園までの読図ハイクも行っていて結局忙しくなりました。グリーンバーが少なく、設営や野外工作に時間がかかり、前半でサイトができあがらなかったこと、寒さで機敏に動けなかったこと、キャンプ中に野外炊事章と野営章の取得を目指したことが時間をおとした要因でした。

スカウトたちには久しぶりの5泊の長期キャンプでしたし、毎日氷点下での寒さと人数不足で余計苦労したと思いますが、そのような中でも、活動中はよく笑い声も聞こえてきて、元気に仲良く過ごせたのは、スカウトたちの力と言えるでしょう。最終日夜に焚き火を囲みながら各自に感想を述べてもらうと、スキルも上がって充実ぶりがうかがえ、ひと回り成長した姿が見られました。スカウトたちには、キャンプを無事にやり遂げたことを自信と誇りにしてほしいです。そして、活動を支えてくれたリーダー、活動に理解を頂いた保護者の皆様に感謝をします。



集合写真



読図ハイクに出発



朝礼で優秀班の表彰



朝の点検



調理中



魚の三枚おろしに挑戦